

Day 3

タイトル 5. 閉会の辞

発表者 モロッコ国持続開発庁 Mohamed Benyahya長官  
日本国環境省 伊藤忠彦副大臣

会合終了にあたり、共同議長がそれぞれ閉会の辞を述べた。

要約

まず、伊藤副大臣は、本会合では、データ収集や官民連携などの廃棄物管理における重要課題について議論がなされ、その結果は、全会一致で採択されたラバト宣言に反映されたと言及した。また、この宣言を実践に移すことが今後の課題であり、サッカー・ワールドカップで試合終了後にスタジアムを共に清掃する日本人とアフリカ人の観客のエピソードを引用し、ACCP加盟国が共に明るい未来を創造することへの期待を述べた。

続いてモロッコ国持続開発庁 Mohamed Benyahya長官は、会合の成果への満足と、日本や他国の参加者に感謝の意を表するとともに、モロッコ政府がACCPの目標達成にさらに尽力することを約束した。特に、モロッコはラバト宣言の実施を支援する意思があると述べ、第一段階として、能力開発と知見共有ワークショップの開催を提案した。